

第1回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成28年5月14日（土） 14時～16時
- 開催場所 布佐南近隣センター
- 参加者 21名
- 出席者 星野市長、日暮総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長
大谷建設部長、渡辺都市部長、他9名

■懇談要旨

市民：①我孫子市内で水害が発生した時に、ここまで水が来たところについて、目印を付けたらどうかと、昨年のふれあい懇談会で質問して市長は検討すると回答をいただいたがどうなっているのか。

②井上邸住宅を文化財として保存をしているが、どのように活用を図っていくのか。どのように利用されているのか。また、啓発や市民に対して企画・展示を今の時点でどのように実施するのか。

③親水広場では、7億円程事業費を使う中で野菜の販売等を実施して、市ではなく民間に委託し費用を無料で貸し出すということですが、それはおかしいと思う。また、7億円をレストランや野菜の販売に使うのであれば、その運用する会社が負担するのではないか。

④布佐南近隣センターの前庭を利用して野菜の販売などに貸せないかと、市民生活支援課に聞いたところ、物品販売には貸せないとなった。水の館については、無料で貸すということだが、それはしないのではないか。

市民生活部長：④売る方の直接利益になるのでお断りをしました。

市長：①万が一利根川の堤防が決壊した時の水害の位置をハザードマップに記載していますが、ハザードマップについては意見が市民によって違います。また、財産の価値が下がることなどでやめてもらいたいという方もおります。水害が発生した時に、そのような状況を求める人求めたくない人がいます。それから全域か地域にするかはもう少しお時間をいただきたい。現在の水位としては、ゼロメータ地帯は布佐で一部あります。手賀川の水位が高い時と低い時では状況が変わってくるので、どういう表示が良いのかももう少し時間をください。

②井上邸住宅は市の東側地区の重要文化財です。保存する方針で教育委員会が

整備をして部分開放しています。建物が江戸末期から明治初期ですので、不特定多数の方が家の中に入るため改修が必要です。

大規模企画展については、まだ無理な状況です。もう少し多くの皆さんが建物の中に入れるようになってから実施したいです。今は外側を整備し、その後保存工事を実施します。

③親水広場の7億円は全体の改修費も含んでいます。直売所だけで7億円は誤解です。昨年の7月に千葉県から2億4千万円の老朽化改修費用を頂いて、今年度改修工事も併せて7億円を使う工事です。1階の直売所の飲食店の改修費は2億3千万円です。その他はエレベーターや空調など20年以上経っていますので大規模改修を実施いたします。1階部分については、我孫子市の農業拠点施設の整備として市議会も含めて決定しています。2億3千万円のうち、1億円については、農林省の活性化事業で直売所を作ることで補助をもらいます。

会社に貸すことですが、農地法人のアビベジに貸します。農家の皆さんが出資をして株式会社として実施し3年間は無料で貸出して4年目から或いは利益が出たときに家賃をいただきます。

我孫子市の1/3が農地ですので、我孫子の緑を維持するため農家の皆さんが農業を継続的に実施していただくため農業支援策はたいせつな事ですので農業政策として考えています。

一般の株式会社ではなく、あくまでも、農家組合から発展した株式会社です。法改正があり農家でも設置できるようになりました。一般の民間会社とは違います。

④各近隣センターの街づくり協議会と連携が取れた場合は、お貸ししていきたいと思います。利益を上げすぎた場合は、他の方法を考えます。

市民：アビベジの出資者ですが、誰でも出資できるのか。何人の出資者がいるのか。また、農家の皆さんの何%になるのか。

市長：人数は把握していないが、株式会社前では50人弱くらいいました。出資はしなくても出荷はできることで、問い合わせや参加希望が増えています。我孫子の農家は500人を切っているので約1割の方が参加している。

市民：①交通施策について、成田線が品川駅まで延びたが議会広報では、毎年同じ様な要望を出している。また、どのような回答があるのか。

②心の教育の関係で、いじめ防止対策は、社会問題になっているが、いじめと言うと言葉としてではなく施策として表現を使うのであれば、心を豊かにする教育という表現にしていくほうが良いのではないか。

③地方創生ですが産業まつりがありますが、先ほどの交通の施策ではないですが、鉄道を便利にすることで各地から色々な方々が入ってくれば我孫子市が発展するのではないか。

市長：①議員さんはJRと交渉は出来ません。それは、予算の権限を持っていないからです。私を含めた首長との意見交換会に同席をしている。解決をしていない件については、要望書を提出して意見交換をしています。私はJRについては、車両は東京支社、駅舎や線路は千葉支社と権限が別れているのでそれぞれの支社と意見交換をしています。常磐線だけでなく品川駅まで成田線の直通列車を乗り入れるよう、成田線の首長さんとお願ひし、実現しました。新木駅駅舎についても地元負担などを協議しながら実施となった。その他では、湖北駅のホームの屋根が3両分しかないことについても、今後屋根の延長について協議していく。また、東京駅乗り入れについては、まだ4本余裕があるので、成田線の直通列車の乗り入れの拡大について要望していく。増発については、平成5年をピークに成田線の乗降客が毎年減っているの、なかなか難しい。JRは利用者が増えたら増発を検討する。特別快速が我孫子駅に停車しない。これは、成田線を利用する方々にはその分だけ本数が減になっています。我孫子駅停車しない場合は、この特別快速を普通の中距離電車にして、我孫子駅と天王台駅に停車していただくように要望しています。

鉄道が難しい場合は、バス便が必要でないか。利用が多くなければ実現は難しい。また、3・5・15号線が全線開通と同時に天王台駅まで検討したい。

②教育については教育委員会と話し合って決定して行く。

市民：成田線の増発を繰り返して要望しているが、要望のあり方として終電を延ばすのはどうか。

市長：全線を複線で要望すると話しに乗ってくれない。部分複線化で我孫子駅から木下駅までなら駅間が短いので、折り返しで交渉している。

市民：これからどうやって人口を増やしていくかについて、その中の交通センサス審議会が羽田空港アクセス線などを耳にした事がありましたので、鉄道のネット

ワークについて今後も進めてもらいたい。

市民：文化会館の建設について、文化都市として会館が無い。議員からも提案があつて、气象台記念公園は市の土地なので土地を買い上げることはないし、広さも十分にある。しかも、東部地区の発展に寄与するのでいい提案ですが、今現在建設はどのようになっていますか。

市長：文化会館について、多くの市民から文化都市として無いのはおかしいという人もいれば、厳しい財政状況の中で必要がないと言う人もいます。現在の市の施設は老朽化が進んでいるものが多いことから、その維持管理などにお金が必要になってきます。そういう状況の中で、これから先の人口推計に基づいた財源の推計をしてみると、今すべての公共施設の更新ができないという想定ですが、市民会館をどうするのかと言う議論はすべきです。そこで、市民会館を建てるとしたら、何処に建設するのか、どのような建設方法にするのか調査をしました。場所は高野山新田が一番だった。建設費用は45～50億円ほどかかりますが東日本大震災の復興と東京オリンピックに向けた施設整備などの影響で、資材や人件費など2割アップしています。このような中でも、現時点で、市民会館は、必要とする人の意見が多いと思います。

市民：調査報告書は何処にあるのか。

市長：近隣センターに置いてあったが、今は引き上げてホームページに載せている。

市民：①複線の用地は77%買収済み、23%はまだと前市長が言っていた。

布佐駅まで複線化にすれば良いのではないか。

②焼却場のエネルギーはどうしているか。

市長：77%買収しているについては、我孫子市内であれば理解できる。

我孫子市だけの事を考えて複線とは言えません。

市民：千代田線を成田線に持ってくるのはどうか。

市長：成田線に持ってくるには、現在朝夕取手駅に往ってますので、取手市と協議をし、さらに運転手と車両を確保しなければならない。また、我孫子市、印西市、栄町、成田市と一緒にJRと協議していかなければならない。

クリーンセンターについては建て替えを検討している。国の交付金1/3をもらう予定ですが熱の有効利用が条件です。

市民：①水の館や井上邸について家はもらったが井上邸の土地は8千万円で買収して

いる。この前には修理に5千万円掛けている。また、3千万円掛けて修理するが、市民の税金を掛けているので我孫子市への集客を考えてもらいたい。

②柏（沼南）に大型店舗がオープンしたが、我孫子市の商店はつぶれてしまうのではないか。それから農産物直売所は成功したのか失敗したのか。また、布佐駅から千葉ニュータウンへバスが出ているが、印西市内1kmは印西市でも木下駅から千葉ニュータウンへ走っているので、バスが重複している。また、どの位の人が乗っているのか、もう少し検証する必要がある。

③千葉県議員選挙に伴い、市は裁判費用として108万円出費しているが。

交通課長：②印西市のバスは1日に98人、その内我孫子市民は36人です。料金は全体の22%を我孫子市が負担しています。平成26年度はルート全体で1,100万円掛かっている。その内我孫子市は240万円負担している。平成27年度はルート全体で1,250万円、我孫子市は330万円です。来年度もそのくらいの予算になります。また、バスを新しくして1便増便しました。

市長：①井上邸宅は教育委員会が文化財として昔ながらの保存で順次直している。他にも、古戸のかぐらのお面の修理、中里の社の仏像3体など、そのつど対応しています。

水の館については、農業振興条例で我孫子の農業を守っていくということで議会でも可決されその延長上で直売所を実施している。去年は1億3千万円の売上がありました。

②あびバスは1ルート800万円の赤字ですが、我孫子市が赤字を補填しています。基本的な考えは高齢化率が高い所で外出支援ということで、民間バスが通行しているところは走らないです。布佐ルートは利用率が高いです。また、印西市も新車両を導入しても走らせています。

アリオは巨大な八百屋ではない。直売所が打撃を受けるとは思わない。布佐地区は、千葉ニュータウンや柏、流山おおたかの森、茨城の守谷などが近いので買物に行きますが、日常的に買物は地元です。一番影響があるのはイトーヨーカ堂さんではないか。まだ、オープンして1ヶ月も経っていないので、今年度中に商業、農業がどの程度影響があるのか調査をさせていただきます。

③千葉県議員選で、訴えられた場合やその他でも市民税、国保税などで市が争う時に弁護士費用として発生します。

市民：議員のことで市が訴えられたが、弁護士費用などについてホームページなどで公開しているのか。

総務部長：訴訟になった時など弁護士費用は市の予算で支出していますので、その都度は公開していないが決算として議会に報告をしている。

市民：議会では解らないのか。一般市民は解らなかった。勝手に訴えて勝手に取り下げてそれでも108万円を支出するのですね。それでも公開はしないのかを聞きたい。

総務部長：係争になりましたので、弁護士を立てて支出しました。事案については市民に対して報告はしませんが、議会に報告をしています。

市民：東京オリンピックに対してどのような取り組みをするのか。

①成田線の利便化で名称を我成（あなり）線に名前を変える。

1時間に15分間隔で4本運行させる。そのうち1本は直通で成田駅から品川駅まで走らせ、特急、急行も検討する。

②聖火ランナーとして国道356号線を市長・議長が走り柏市に手賀大橋で引き継ぐ。

③国道356号線の整備。

④手賀沼の浄化で汚泥が底に沈んでいますので、東京オリンピックが終わった後で改修する。

⑤東葛地区のリーダーを巻き込んで共同で進める。

⑥人事として東京オリンピック推進室を作る。

⑦千葉県が動いていますので組織のメンバーに市長は入っていない。

⑧国の委員会では元総理の森委員長、桜田副委員長に協力してもらい一緒にオリンピック委員会に踏み込んでもらいたい。

部分答弁しか出来ないと思いますので後日で結構です。

市長：①⑧成田線については、我孫子駅～成田駅、成田駅～銚子駅までを言っている。

また、JRは我孫子線と呼んでいるが、名前を変えると全国的に名前を変えないといけないのでお金がかかるので難しいと聞いています。また、特急・急行を走らせると特別料金がかかるのでこれも難しいと聞いています。

オリンピックに向けては、我孫子市だけではなく国会議員や地元の県会議員に「こういうことをやりたいんだ」あるいは、「やれるんだ」と話をしているとこ

るです。

②③聖火ランナーについては、布佐地区が震災にあった時に子ども達の頑張りが今も思い出されるので、布佐の都地区では是非とも走らせたい。聖火リレーのコースについても、東葛地区の首長と地元の県議会議員、国会議員に対し併せて要望を行っています。

④市は合宿所として誘致を考えている。例えば、ゴルフの練習場、野球と女子ソフトボールはオリンピック種目として決定していないので未定ですが、オリンピックの2年前に女子ソフトボール世界大会が千葉県で開催されるので、我孫子市はキャンプ地として手を挙げさせていただきますが、他にも2市が手を挙げていますので誘致合戦になると思います。

市民：市の組織作りは。

市長：誘致が決まって事前キャンプ地として決まれば考えます。

市民：市長の任期は後2年です。市長には頑張ってもらいたいです。

市民：第1回目の懇談会ですが、毎年市議会で事業仕分けについてどの位減ったのか来年度から載せてください。また、ふれあい懇談会の参加者が少ない、市のPRが足りないです。私は広報で知りました。

市長：我孫子市も事業仕分けを平成20年度から実施しているが、議会からではなく自ら事業仕分けをしています。これ以上実施すると、福祉を切るようになる。皆様の税金約400億円のうち50%を民生費・衛生費で占めています。今年度はやり方を見直します。

ふれあい懇談会の人数はどの会場も20名から30名くらいです。一会場で80名から100名位の所もあります。私が市長になってから、春・秋2回実施するようにしました。

市民：事前に資料を配布して置けば、これに対して質疑があるので参加者が増えると思います。

市長：前回、市民の方からふれあい懇談会の中で指摘がありましたので、今回から一週間前にホームページに掲載しています。

市民：湖北台近隣センターの日程が都合悪いので今日出席した。湖北地区のことについて聞きたいと思ったが、一人10分くらいなので、多くの方が質問をするようシステムにしていきたい。

市長：年2回春と秋に5会場で実施しているが、他の地区の方が来ても結構です。

湖北台地区の資料は1週間前に資料はホームページにアップしますので、それを見て意見があれば市へ手紙をお願いします。